

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成28年度病害虫防除情報第4号

早期水稲のいもち病についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

早期水稲で葉いもちの発生が多くなっています。適切な防除を行いましょ。

1 作物名 早期水稲

2 病害虫名 いもち病

3 発生状況（経過）

1) 6月中旬の巡回調査における巡回調査の結果は以下の通りであった。

発病面積率 : 34.4% (平年14.1%、前年46.9%) 平年よりやや多
発病度 : 2.3 (平年0.9、前年5.8) 平年よりやや多
発病株率 : 9.0% (平年3.6%、前年22.5%) 平年よりやや多

2) 向こう1か月の天候は、前半は平年に比べて曇りや雨の日が多く、気温は平年並が30%、高い確率が40%、降水量は平年並が30%、高い確率が50%と予想されている（鹿児島地方気象台6月23日発表1か月予報）ことから、病徴の進展に好適な条件である。

3) アメダスデータを利用した葉いもち発生予測モデル（BLASTAM）によると、5月から6月にかけて県内各地で感染好適日が出現しており、今後も発生の拡大が予想される（表2）。

4) 止葉や次葉に発生した葉いもち病斑は穂いもちの主要な伝染源となるため、出穂後の穂への感染が懸念される。

表1 6月中旬の葉いもち発生状況

区分	地点数	調査 程度別発生面積率 (%)			発生面積率 (%)	発病度
		甚	多	中 少		
全県	32	0.0	0.0	3.1 31.3	34.4 (14.1)	2.25(0.92)

※()内は平年値

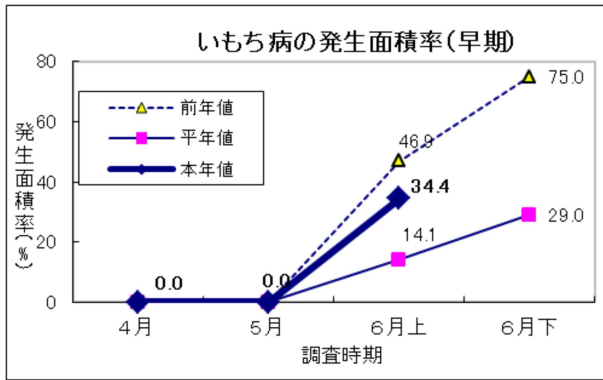


図1 巡回調査における発生面積率の推移

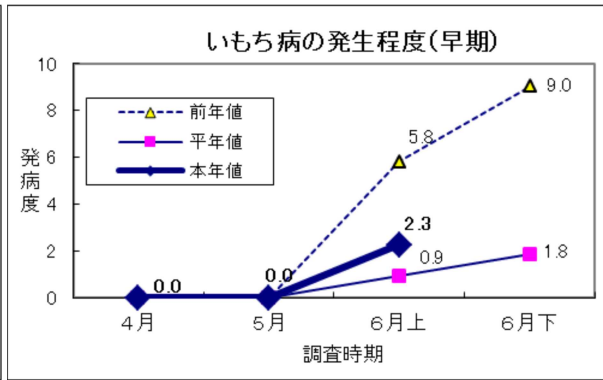


図2 巡回調査における発病度の推移

表2 5月下旬～6月中旬のBLASTAM判定結果

	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16
古江	-	-	-	-	●	-	-	1	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	●
延岡	-	-	-	-	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	●
日向	-	-	-	●	●	-	-	●	●	-	●	-	-	-	-	●	-	-	●
高鍋	-	-	●	●	●	●	-	●	●	4	-	-	-	-	-	●	-	-	●
西都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-
宮崎	-	-	-	-	●	-	-	-	●	4	-	-	-	-	-	-	-	-	●
青島	-	●	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	●	-	-	-	4	-	●
赤江	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●
油津	-	●	-	-	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
串間	●	●	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-

注) BLASTAMは、気象庁のアメダスデータを用いて、葉面の湿潤時間を計算し、いもち病(葉いもち)の感染しやすい条件を推定するシステムであり、もっとも感染に好適な条件になった日は●で表示される。

※最新の情報は <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki/800/300/suitou/h28/blastam201606.htm> を参照

4 防除上の注意

- 1) 穂いもちを対象に、穂ばらみ後期と穂揃期の2回防除を徹底する。
- 2) 本田で粒剤処理を行った水田においても、葉いもちの発生が多く、上位葉に進展している場合は、穂揃期の7～10日後に追加防除を行う。
- 3) 雨の多い時は雨間散布を行い、防除適期を失しないようにする。
- 4) 無人ヘリ防除が行われない地域は広域の集団一斉防除に努め、防除効率を高める。

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局(農業改良普及センター)、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日の3か月間、農薬危害防止運動を実施します。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 久野
 Tel:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127
 ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>
 E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp